

II 電子マネーの保有・利用状況

1 電子マネー^{※2}利用世帯の割合は過去最高

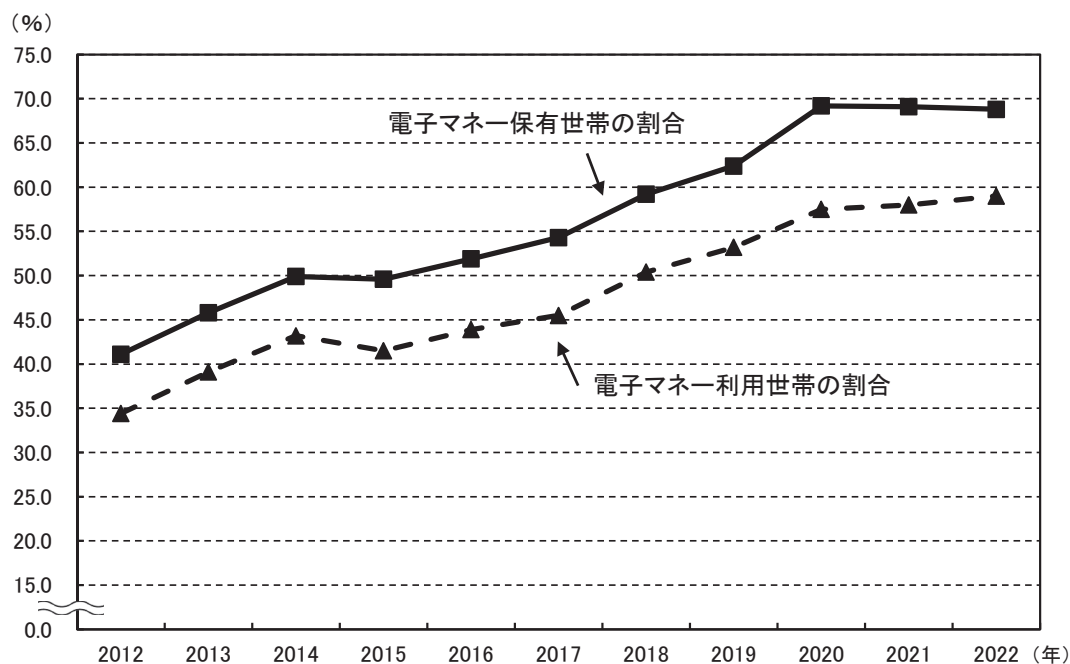
2022年の二人以上の世帯における電子マネーを保有している世帯員がいる世帯（以下「電子マネー保有世帯」という。）の割合は68.8%と、前年に比べ0.3ポイントの低下となった。

また、電子マネーを利用した世帯員がいる世帯（以下「電子マネー利用世帯」という。）の割合は59.0%と、前年に比べ1.0ポイントの上昇となり、過去最高となった（表Ⅱ-1、図Ⅱ-1）。

表Ⅱ-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）

年次	電子マネー保有世帯(%)	電子マネー利用世帯(%)
2012年	41.1	34.4
2013	45.8	39.1
2014	49.9	43.2
2015	49.6	41.5
2016	51.9	43.9
2017	54.3	45.5
2018	59.2	50.4
2019	62.4	53.2
2020	69.2	57.5
2021	69.1	58.0
2022	68.8	59.0

図Ⅱ-1 電子マネー保有・利用世帯の割合の推移（二人以上の世帯）



※2 この調査での「電子マネー」とは、事前に現金と引換えに金銭的価値が発行されたICカードやプリペイドカード等（次の例を参照）をいう。

例) Suica、ICOCA、PASMO、nanaco、WAON、楽天Edy、WebMoney、BitCash、クオカードなど

なお、デビットカードや、クレジットカードのような後払い方式の決済サービスは含まない。

また、図書カードなどのように特定の商品・サービスしか購入できないプリペイドカード等も含まない。

2 電子マネー利用世帯の割合は、世帯主が40歳代の世帯で最も高い

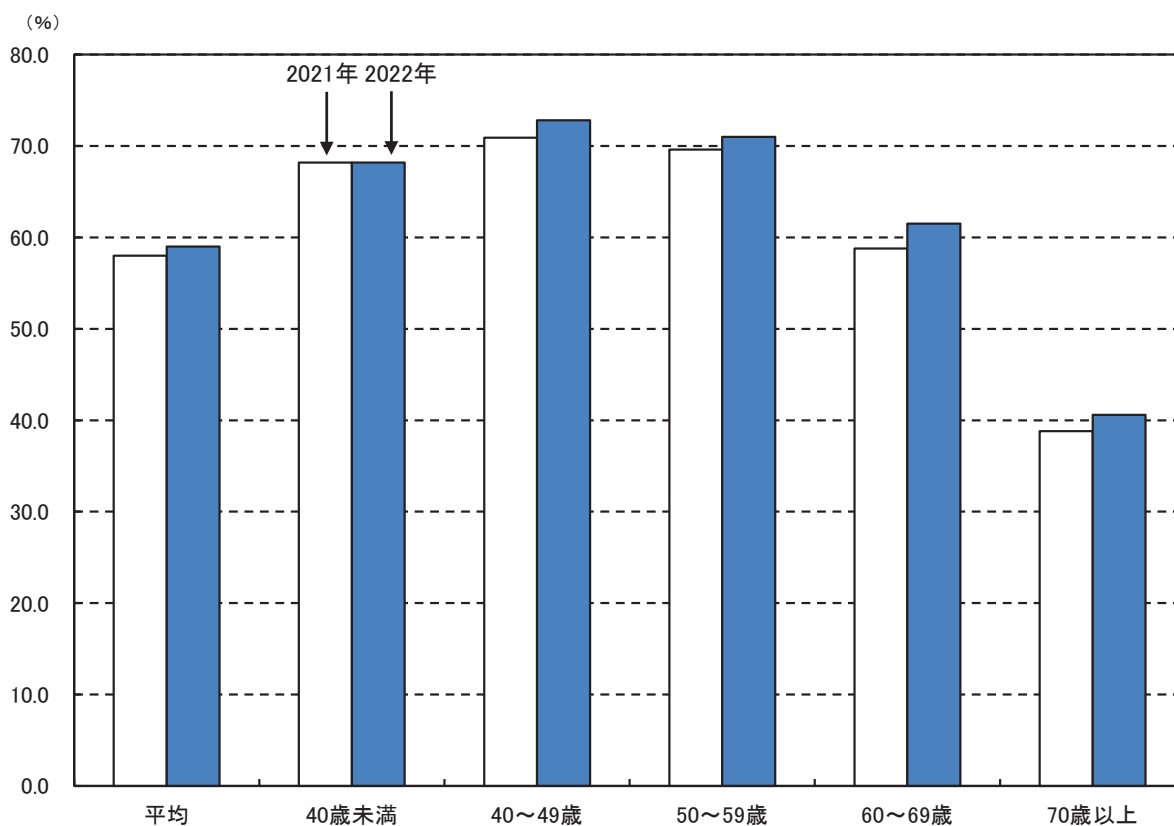
2022年の二人以上の世帯における電子マネー利用世帯の割合を世帯主の年齢階級別にみると、40～49歳が72.8%と最も高く、次いで50～59歳(71.0%)、40歳未満(68.2%)などとなった。

前年と比べてみると、60～69歳が2.7ポイントの上昇、次いで40～49歳が1.9ポイントの上昇となるなど、40歳未満を除く各年齢階級で上昇となった(表Ⅱ-2、図Ⅱ-2)。

表Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
割合(%)						
2021年	58.0	68.2	70.9	69.6	58.8	38.8
2022年	59.0	68.2	72.8	71.0	61.5	40.6
対前年増減(ポイント)						
2022年	1.0	0.0	1.9	1.4	2.7	1.8

図Ⅱ-2 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の割合(二人以上の世帯)



3 電子マネー利用金額は増加

2022年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額は、1か月平均28,295円で、前年に比べ6.5%の増加となった。

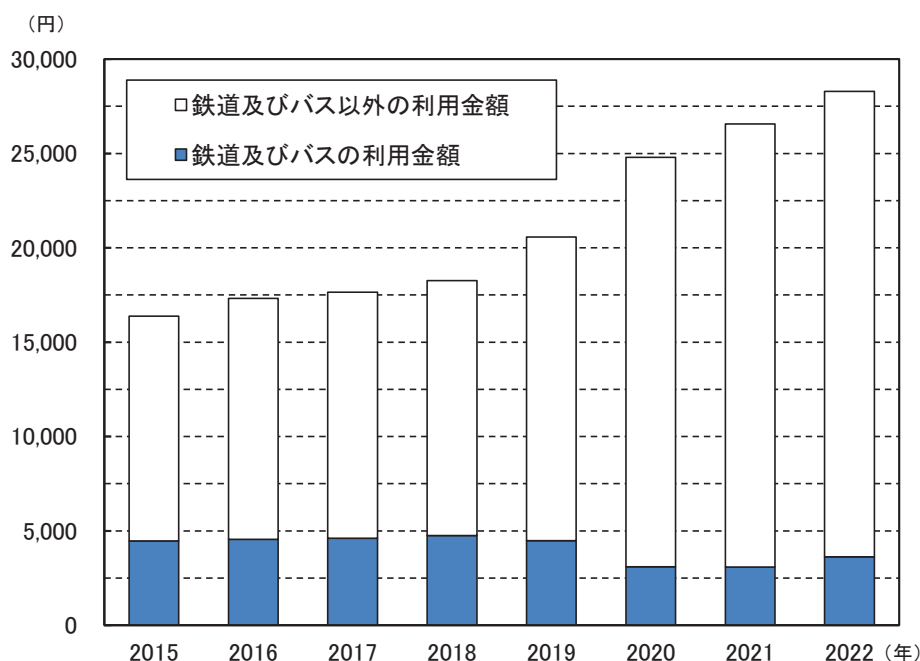
内訳をみると、鉄道及びバスの利用金額は1か月平均3,627円で、前年に比べ17.5%の増加となった。新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響を受けて2021年の利用金額が少なかった一方で、2022年は外出自粛などの緩和により外出機会が増加したことが要因と考えられる。

また、鉄道及びバス以外の利用金額は1か月平均24,668円で、前年に比べ5.1%の増加となった。電子マネーを利用する機会が年々増えている状況がうかがえる（表Ⅱ－3、図Ⅱ－3）。

表Ⅱ－3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）

年次	平均利用金額(円)	鉄道及びバスの利用金額(円)	鉄道及びバス以外の利用金額(円)	平均利用金額に占める鉄道及びバスの利用金額割合(%)
2015年	16,382	4,468	11,914	27.3
2016	17,318	4,553	12,765	26.3
2017	17,644	4,603	13,041	26.1
2018	18,256	4,746	13,510	26.0
2019	20,567	4,487	16,080	21.8
2020	24,790	3,098	21,692	12.5
2021	26,568	3,088	23,480	11.6
2022	28,295	3,627	24,668	12.8
2022年の対前年 名目増減率(%) 及び対前年増減 (ポイント)	6.5	17.5	5.1	1.2

図Ⅱ－3 電子マネー利用世帯の1か月間の平均利用金額の推移（二人以上の世帯）



4 電子マネー利用金額は、世帯主が40歳未満の世帯で最も増加率が高い

2022年の電子マネー利用世帯（二人以上の世帯）における電子マネーの利用金額を世帯主の年齢階級別にみると、50～59歳が1か月平均29,667円で最も多く、次いで60～69歳（29,393円）、40歳未満（28,186円）などとなった。

前年と比べてみると、40歳未満が16.5%の増加、次いで50～59歳が7.8%の増加となるなど、全ての年齢階級で増加となった（表Ⅱ-4、図Ⅱ-4）。

表Ⅱ-4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

年次	平均	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
		月平均額(円)				
2021年	26,568	24,192	26,737	27,522	27,873	25,328
2022年	28,295	28,186	27,810	29,667	29,393	26,191
対前年名目増減率(%)						
2022年	6.5	16.5	4.0	7.8	5.5	3.4

図Ⅱ-4 世帯主の年齢階級別電子マネー利用世帯の平均利用金額（二人以上の世帯）

